

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

“地域で食材を循環させる会” 発足

食材を集めることを 始めています

○募集する品

- ・白米
 - ・インスタント食品
 - ・レトルト食品
 - ・缶詰、瓶詰
 - ・菓子類
 - ・リンゴジュース
 - ・乾物
 - ・乾麺
 - ・調味料 等
- *保存できるもので、賞味期限が1ヶ月以上あるもの(米は1年米)。
*食材購入するためのご寄付も受け付けています。

○窓口

- ・松川町社会福祉協議会【元大島2930-12】…平日(8:30~17:00)
- ・NPO法人Hug【上片桐2165】…月、火、水、金(11:30~15:30)

*窓口へ持つて来られない方は松川町社協(36-3778)までご連絡ください。

○主催・お問い合わせ先

地域で食材を循環させる会 代表:何原弓絃(090-4153-5687)
NPO法人Hug篠田阿依(48-0895)
事務局:松川町社会福祉協議会(36-3778)



△第1回食材配布の様子

地域で食材を循環させる

世界中で新型コロナウイルスの暗いニュースが続き、私達の生活にも何らかの支障をきたしている昨今、何か役に立つ事が出来ないものか?と考え『地域で食材を循環させる会』というチームを結成しました。

6月15日、5人のメンバーと松川町社会福祉協議会の方を交えて相談した結果、各々の家庭で眠っている食材があったら提供していただき、地域で食材を循環させることにしました。

会員からの呼び掛けで住民の方、企業の方、声を聞いた他市町村からも沢山の食材が届きました。第1回目の食材配布を松川高校ボランティア部の生徒さん3名にお手伝いいただき、7月18日上片桐の「Hug」さんの敷地をお借りして行いました。おいでになった方は「こんなに沢山有難うございます」と喜んでくださいました。そんな中、松川高校の生徒さんが誰に言われるでもなく、おいでになった方の車まで重たい食材を運んでくださり、優しい心溢れる自然な姿に感動させられました。

1回目の何もわからないままの配布も無事終わり、8月9日2回目も配布することが出来ました。賛同する仲間も増え、配布後の問題点も大なり小なり出ていますが皆で反省し話し合いを重ねながら、手探り状態ではありますか今後も月1回の配布を目指し活動していきます。地域に温かい輪を小さいながらも広げ続けて行けたらとメンバー一同願っております。

地域で食材を循環させる会 大澤ユリ子

上片桐八健会

オレンジカラフル学習会



ホーイ元氣？



30年以上にわたって健康学習会続いている上片桐の八健会で近年取り組んでいるテーマが認知症。学習の一環として、今注目されている『オレンジカラフル』を見学した。

名子にある民家をそのまま活用し、3年前に開設されたオレンジカラフル。それまで使われていた居間や座敷、台所等を活かして運営がなされている様子を何原弓絃さん(ゆづるひづるひづる)の案内で見せて頂いた。広々と開放された座敷は、暑い時期ではあるが気持ち良い風が通り抜け、まるで我が家にいるような感覚で気楽に過ごせるのが特長。現在69才から97才まで36名が登録され普段は十数名が集まって来る。

朝お茶を飲みながら、その日のニュース解説が始まつて、歌に合わせて体操やゲームで体と心をほぐしていく。お昼を頂いた後は午睡やら思い思いに会話をしたり、手芸で作ったお手玉や折紙を使って、手指を使った運動等。和気あいあいの雰囲気の中で一日を過ごした後、お茶を頂いて、送迎の車に乗つて自宅へ向かう。

人生百年と言われる高齢化社会にあって、誰もが不安を抱きながらも具体的な行動に迷いを感じている人も多いのですが、そんな中で認知症や介護の問題を考える機会として、オレンジカラフルの活用が期待される。

北島正隆

よ。

熊谷あや子

この頃はみんなの心の中に、知り合いのあの人、「この人に向けて「ホーイ元氣?」と声をかけたい」という思いがいっぱいになつてることと思います。大事な行事も小さな楽しみの集まりをみんななくなつてしまつて、毎日つかみどころのない何かが自分にも迫つてくる不安ばかり伝わってきます。

スーパーの駐車場でバッタリ会つた友人に「ホーイ元氣?」と声をかけることで、実は何となくウツウツとしていた自分が元気になることに気づきます。マスクの上の笑つている目がうれしいのです。
人は好きなど、楽しいことをしたり、話をして毎日声を出して笑う生活を送つていると、そうでない人より高齢になつても要介護2以上になる率が1.4ポイントも下まわるそうです。

声を出して笑う、これって考えてみるとむつかしい。相手がいて、立つことだから。家族の中で笑い合つて生活している人は二重丸。これから自分で笑いのタネを見つけ出して笑い声をあげられるようにならしめよう、そして知り合いには「ホーイ元氣?」と電話をして楽しい話をしましよう。

今度会つたら、あれしよう、これしようと未定でいいから予定をいっぱい作りましょう。コロナにも暑さにも負けてはいけない、家にいても仲間がいることを忘れないでいましょう。